



# 大磯小学校 学校だより

令和7年7月18日

【学校目標】 おだやかに 自ら学び 共に育つ

校長 成田 麻紀



酷暑に悩まされた7月をどうにか乗り切り、1学期の終わりを迎えることができました。プールに行かれないだけでなく、体育の授業にも制限がかかり、さらには中休みや昼休みにまで制限がかかることとなり、子どもたちにとっては「ガマン」の7月だったことと思います。それでも毎日、時間をかけて、顔を真っ赤にさせながら登校し続けた子どもたち、本当によく頑張ったと思います。

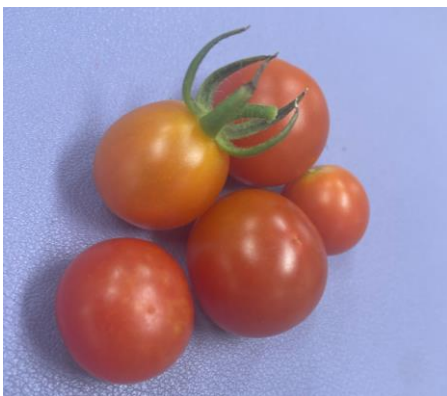
先日、6年生のスマートフォンの使い方に関するプレゼンテーションを参観しました。どのグループも課題意識を持ち、その改善のためにはどうしたらよいか、考えたことをアプリでまとめていましたが、しっかりと課題意識を持っているのだなと感心しました。プレゼンテーションも、ただ事前に用意した原稿を読み上げるわけではなく、随所に聴衆への質問があり、さすが6年生だな、と思う内容でした。「校長先生、知っていますか？」と投げかけられたときは、些かしやりとしました。この学級でもスマートフォンの所持率は高かったように思います。夏休み、時間ができるところで使い過ぎにならないよう、自分自身で気を付けることはもちろんですが、ご家庭でも気にかけていただければと思います。



1年生の廊下には、「学校たんけん」をしてインタビューをした人や場所の絵が掲示されていました。校長室には緊張して訪れた様子がうかがえたのですが、思いのほかよく室内を観察していて驚きです。そんなところからも、この3ヶ月の成長が感じられ、嬉しく思います。

今月は七夕がありましたので、今年度新設された、「季節楽化委員会」の手で、七夕飾りが磯っこ広場に設置されました。様々な季節行事を楽しむべく活動するこの委員会。日本の伝統行事をたくさん取り上げてくれることを、大いに期待したいと思います。

当日は残念ながら曇り空で、星を見ることは叶いませんでしたが、短冊に書かれた一人一人の思いが天に届き、叶えられることを願います。



授業で野菜の栽培をしている2年生。突然数名が校長室に訪れたので何事かと思ったら、収穫したミニトマトをプレゼントしてくれました。太陽の光をいっぱい浴びたトマトは、真っ赤でとてもおいしそう。一生懸命育てた収穫物を、分けてくれるその心の優しさに、感動しました。



熱中症指数とこらめっこをする大人をよそに、子どもたちは元気にこの一学期を過ごしました。今年の夏休みは44日間と長いですが、一回りも二回りも大きくなった子どもたちに、2学期に会えることを楽しみにしています。

